

講義コード		科目区分	基礎教育科目
(フリガナ)	レキシ	(フリガナ)	イトウ ヨウジュ
授業科目名	歴史	担当教員名	伊藤 陽寿
英文授業科目名	history		
基準年次(開講期)	1年(後期)	履修形態	選択
曜日/ 時限/ 講義室			
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	歴史, 歴史学, 歴史認識, 歴史解釈		
授業概要・目的	「歴史」とはなにか。「歴史」と歴史学は違うのか。歴史家とは普段なにをやっている人々なのか。「歴史」は我々が生きるうえで、もしくは社会において役に立つものなのか。また、こうした問題が「歴史学」のなかでどのように考えられ、扱われているのか。本講義では、そうした歴史理論について解説していく。		
到達度評価の評価項目	授業中に小テストまたはレポート課題を課す。全3回を予定。		
授 業 計 画			
第1回	ガイダンス 「歴史」と「歴史学」のあいだ		
第2回	歴史は社会の役に立つのか①		
第3回	歴史は社会の役に立つのか② 歴史学のアクチュアリティ		
第4回	歴史学は私たちの生活の役に立つのか 社会史について		
第5回	第1回～第4回の授業についてのレポート課題		
第6回	時代区分論 古代～中世～近世～近代～現代		
第7回	歴史は「科学」か① マルクス主義的歴史観		
第8回	歴史は「科学」か③ 社会経済史や東京・京都の学派		
第9回	第6回～第8回の授業についてのレポート課題		
第10回	グローバルヒストリー① 社会経済史から対外交渉史へ		
第11回	グローバルヒストリー② グローバルエコノミー、そして海域アジア史		
第12回	現代史と歴史認識① 言説研究—「鎖国」論、オリエンタリズム		
第13回	現代史と歴史認識② 歴史認識問題とオーラルヒストリー		
第14回	私たちの生活と「歴史」 これまでの復習		
第15回	第11回～第14回の授業についてのレポート課題		
教科書・参考書等	適宜プリントを配布する。小田中直樹『歴史学ってなんだ?』PHP研究所、2004年、歴史学研究会編『歴史学のアクチュアリティ』東京大学出版会、2013年など		
授業で使用する機器等	適宜こちらで用意する。		
予習・復習へのアドバイス	授業を聞いた時の印象を大切に、けっきょく「歴史」は自分にとって何なのかを、そのつど考えてみること。		
履修上の注意・受講条件等	私語・食事は禁止。周りに迷惑をかけない。また、電車遅延については配慮しないので、早めに大学に着くこと。		
成績評価の基準等	毎回の出席、及び3回のレポート課題により総合的に評価する。		
メッセージ	感情論ではなく、授業で示した方法ののっとり歴史や物事を見られるようになってほしい。		
オフィスアワー			
その他			